

あなたのサージカルマスク大丈夫ですか？

使い方次第で効果が違います。

おことわり；特定の被験者の顔でテストした結果です。漏れ率の数値は全てのマスク使用者にあてはまるものではありませんが、感染予防として使用する場合の参考にしてください。

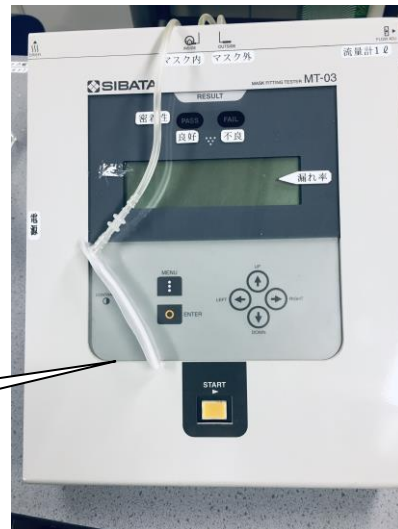
- テスト1 どれくらい漏れこんでいるか
- テスト2 マスク本体（フィルター）に十分な防護性能はあるのか
- テスト3 どのように使えば予防効果があるのか

防じんマスク漏れ率測定器

粒子状粉じんのマスク内への漏れ込み程度を「漏れ率%」で表示

漏れ率50%とは周囲の粒子の半分は漏れこんでいる状態

これをマスク内に差し込んで漏れこんでくる粒子数を測定

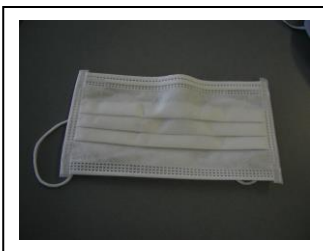
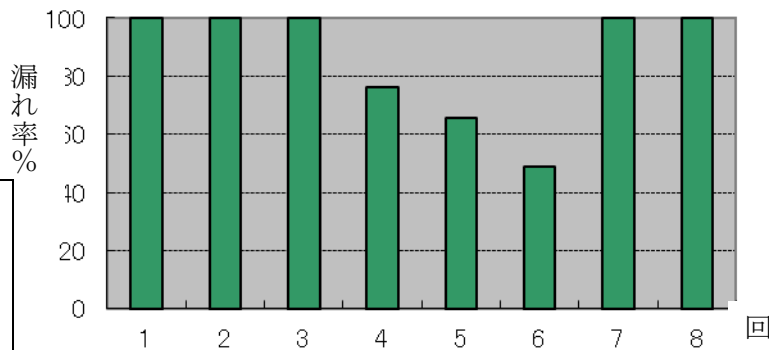


テスト1 どれ位漏れ込んでいるのか？

漏れ込みを気にせず、マスクの脱着を繰り返し測定しました。

50%から100%漏れ込みました。フィルター（マスク本体）には空気の流れに抵抗があるため、大部分の空気はマスクと顔の隙間から入り込んでいるようです。

漏れ込みを気にしないで装着した場合

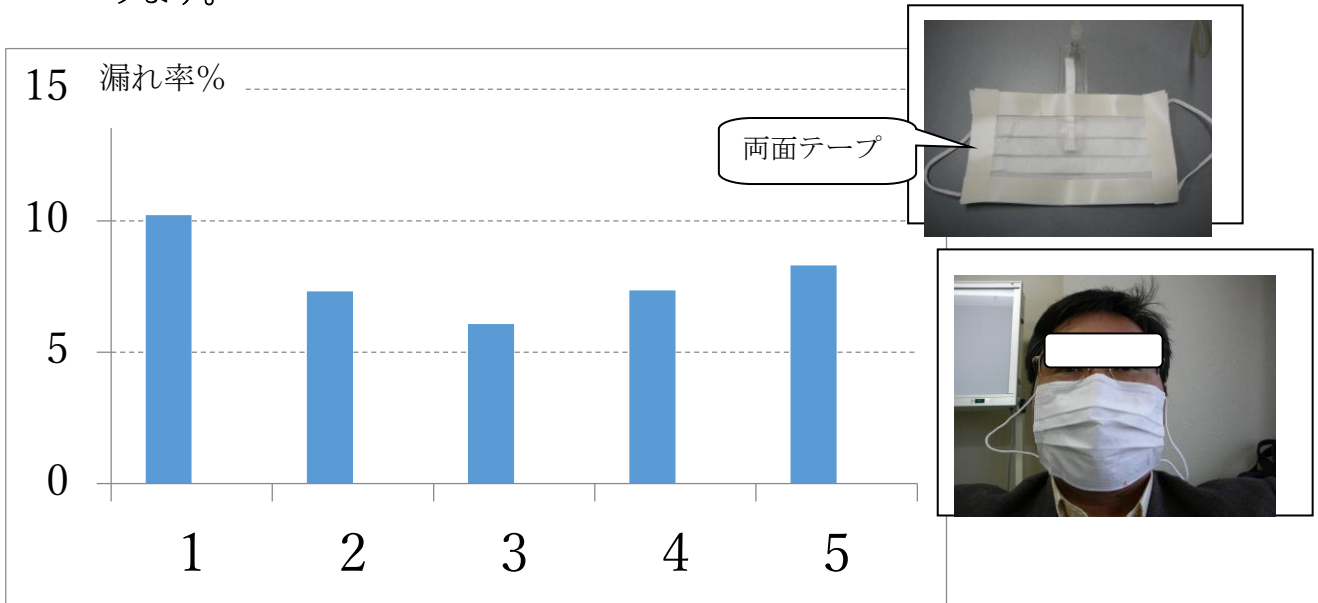


A社製サージカルマスク（BFE(バクテリアバリア性)
95%以上の捕集性能)

それでは実際に使用中、漏れ込みを少なくすることが出来るのでしょうか。

テスト2 漏れを無くす方法として、マスクの縁全周に両面テープを貼り、そのまま顔に接着させるテストを繰り返しました。

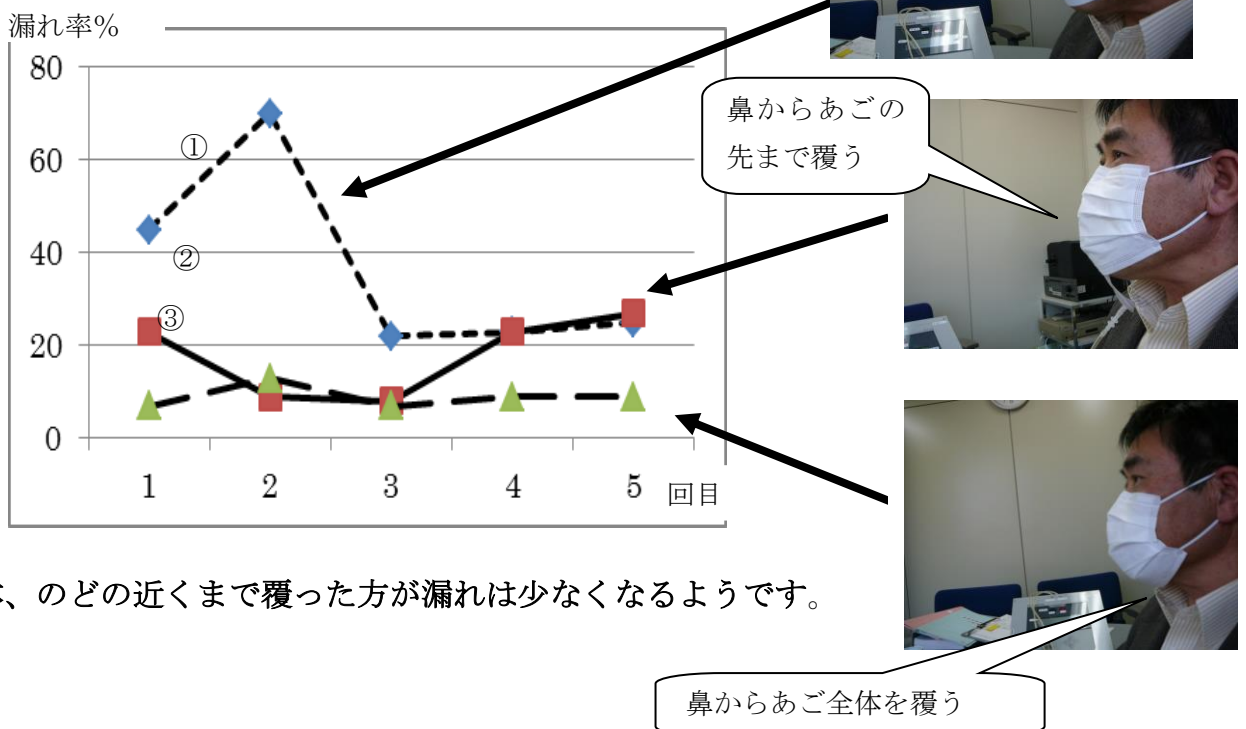
漏れ率は6～10%と少なく、マスクと顔の隙間をなくせば漏れ込みは少なくなります。



テスト3 マスクの装着部位による漏れ込みについてテストしました。

- 装着部位
- ①鼻と口を覆う
 - ②鼻・口とあごの先まで覆う
 - ③鼻・口とあご全体を覆う

マスクの端を顔に押し付け、入念に隙間を無くして測定することを繰り返しました。



あご全体、のどの近くまで覆った方が漏れは少なくなるようです。

テストの結果

隙間を無くす努力を惜しまなければ、サージカルマスクでもそれなりの防護効果が得られそうです。

隙間の出来にくい、顔に合うマスクを選ぶことがポイントですが、顔の形はどうしようもないので次の点に留意することにより、より効果的に使えそうです。

- ①まず、フィルターの性能が良いマスクを選ぶ。ただし消費者は表示を信ずるしかない。
- ②鉄板入りなど、鼻周辺からの漏れ込み対策機能付きを選ぶ。
- ③マスクを目の下から喉元まで広げる。
- ④マスクを入念に顔に押し付け、徹底的に隙間を無くす努力を惜しまない。

**☆マスクを広げ、目の下からあごの下まで覆う
鼻を出すのは論外です**

**☆マスクのふちを顔に押し付け、特に鼻周辺の隙間を徹底的に無くす
努力を惜しまない**

サージカルマスクは自身の咳による飛沫飛散防止には効果があるが、外部からの侵入を防ぐ効果は少ないと言われています。でも使うからにはより効果的な使い方したいものです。